

プログラム名		焼き杉工作		時 間	1.5～3時間
ねらい		1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。 3 自然のものを使用することにより「玄海の家」での活動の思い出とする。			
活 動 内 容		1 活動形態 → 個人あるいはグループ（4～6名程度） 2 内 容 → 好きな動物のかたちの杉板を選び、その杉板を焼いて作品を制作する活動。			
対 象		制限なし	活動可能人数	100人程度	
展 開 例	1 集 合 ・ 食堂売店に申し込みと事務室への連絡 ・ 指定された場所と時間に集合（入所時に確認） ・ グループの場合は、グループごとに集合 ・ 参加人員と健康状態の把握				
	2 事前指導（「玄海の家」指導員・約10分） ・ 活動道具の準備、配布 ・ 説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等）				
	3 活 動 ・ 杉板の選択（ウギ・イハ・イナヅナ・ツグミ・魚・ワグ の6種類…事前に選択させた方がよい） ・ ヤスリで形をととのえる（角を落とすだけでなく、形を変える程度まで削る） ・ ガスバーナーで杉板全体を平均して焼く（表・裏・側面） ・ 木目の光沢が出るまでたわしで磨く ・ 「玄海の家」の焼印を入れる ・ ボンドで目玉をつけ、ヒートン（金具）やひもをつける				
	4 事後指導（各団体） ・ 道具の後片付け、ゴミの処理 ・ 人員確認および借用物の確認と事務室、食堂売店への返納 ・ 評価と反省				
実 施 上 の 留 意 点		1 研修室の使用などがあるでの、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 創作活動であるため、十分な時間の確保が必要。 3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導として「玄海の家」職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返納は職員の点検を受けて確実に行う。 5 物品の購入および支払いは、すべて食堂売店で行う。 6 刃物、火気を使用する場合は、ケガや火傷がないように十分注意する。 7 焼印、ガスバーナーの使用は必ず指導者が行う。			
引率者の役割		火気、用具の管理			
「玄海の家」で準備できる物		木工ヤスリ（100本）、焼印セット、たわし、雑巾			
利用団体で準備する物		軍手、（食堂売店から購入一人300円：焼杉セット『杉板・目玉・ひも』、ボンド、ヒートン、ガスバーナー）			

